

AVR

ADVANCED VIRTUAL REALITY

特許取得済み
特許第6717486号

AVR (ADVANCED VIRTUAL REALITY) とは…
クロマキー合成と距離合成を
リアルタイムで行うことができる
長年培ってきた映像制作の経験を活かして開発した
ACW-DEEP独自の拡張VRディスプレイシステムです。



実際の手元が見える
3D立体視カメラ

VR空間内で、3DCGと実写の共存を可能にします

より現実に近いVR体験ができます

従来のVRシステムでは、視界に映るものを全てをCGによって作り上げる必要があります。しかし、それでは人工的な仮想空間の枠内での体験しか得ることができません。AVRでは、体験者の周りのテーブルやイス、そして自分自身の手足、手に持つ道具やコントローラを実際に見ることで、より現実に近い感覚で訓練することが可能です。



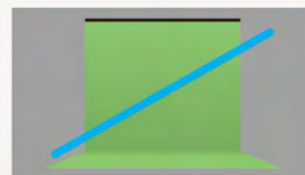
3DCGの前後に実写を差し込むことができます

VR空間内CGの前後に実際の手足を差し込むことができるので、今までにはなかった様々なアプリケーションを実現することが可能です。



周辺環境を揃える必要がありません

AVRの独自の技術によりクロマキー用スクリーンがなくてもCG背景を表示することが可能です。



▶ サンプル動画で実際にAVRの特徴を御覧ください

バーチャルリアリティ (VR) の問題点を解決します

3D酔いの症状がでにくい

激しい動きのVR映像を見ると車酔いのような症状になる事があります。それは映像の変化と体の変化が同調していないことが原因です。本システムは体の動きに合わせた映像を表示し、さらに自分の手足や周囲の物体を表示することにより平衡感覚を維持することができ、3D酔いの症状がでにくくなります。



周辺環境との衝突を回避

ヘッドマウントディスプレイは目隠ししている状態で映像を見ます。そうすると周囲にある机などの什器を認識できず衝突する危険があります。本システムは装着された外部カメラにより周囲を見ることができるので、衝突の危険を回避する事ができ、安全なVR体験を実現することができます。



様々なセンサーシステムに対応

様々なアプリケーションへの応用が可能であり

従来のVRでは難しかったシステムをより効果的なシステムとして完成させます

VRヘッドセットはHTC VIVEシリーズはもちろん、OCULUS RIFTやWINDOWSVRシステムなど様々なシステムに対応可能です。また、モーションキャプチャシステムVICONやOPTITRACK、モーションキャプチャスーツ「XSENS MVN」など様々なセンサーシステムに対応することが可能であり、動作範囲やコストを考慮し、教育や技術伝承など用途に応じたシステム構成をご提案します。また、携帯端末を使ったARなどと連動させたシステム構築も可能です。



エンターテインメントの力をビジネスへ

弊社は長年にわたり映画やCMなどのエンターテインメント映像製作に関わってきました。その経験を活かし、体験者が快適に楽しむVR環境を作ることを目指しています。AVRは、手に持つ実際のツールや操作パネルなどもVR空間に投影することが可能です。これにより、ゲームなどのような娯楽分野だけでなく、人材教育や作業訓練、実験開発、医療や福祉といった様々な分野においてVRを効果的に活用していただくことができます。

AVRシステム導入例

危険教育

高所など危険な場所での実地訓練が擬似的に体験できます。安全を保証したまま高度な訓練を積むことが可能です。



重機シミュレーション

重機などのマシンを擬似的に体験できます。現地におけるリアルな工程確認や運転技術の修練に役立ちます。



住宅販売サービス

お部屋の中を自由に動き回ることができます。日時や天候なども自由に変更できるので、より臨場感のある住宅販売が可能です。



今後も【高齢者向け仮想旅行ツアー事業】【イベントVR配信事業】【医療シミュレーター事業】など様々な分野での事業展開を予定しています。



お電話またはメールにて
お気軽にお問い合わせください



044-400-2236



info@acw-deep.jp